

(お 知 ら せ)



平成 24 年 1 月 6 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（1月6日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成23年12月3日～平成24年1月6日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（平成24年1月6日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事のうち、安全対策として法面補強工事等を行っています。

（2）仮設工事関係

浦底湾側の仮設用地内のコンクリートプラント設備の設置工事が完了しました。
今後、完成したコンクリートプラントを使用し、コンクリートの品質確認のための試験を行います。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、天正地震に関する津波堆積物調査結果を平成23年12月21日に国へ報告しました。また、敦賀発電所2号機の安全性に関する総合評価に係る報告書を平成23年12月27日に国へ提出しました。

詳細については別紙1をご参照下さい。

当社は今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

5. その他

(1) 敦賀発電所1号機廃棄物処理建屋1階での短絡事象の原因と対策について

敦賀発電所1号機は、定期検査中の平成23年12月12日19時45分ごろ、廃棄物処理建屋1階の電気室（管理区域）において、同建屋2階の照明用電源を別のMCC※ユニットに切り替えるため、仮設ケーブルを敷設した後、MCCユニットの電源を入れたところ、同ユニットから出火したことを確認しました。

20時52分に公設消防により、本事象は火災ではなく過電流による短絡事象であると判断されました。

本事象による周辺環境への放射能の影響はなく、負傷者は発生していません。

（平成23年12月13日公表済）

現場の状況として、当該MCCユニットや仮設ケーブル被覆に焦げ跡や溶断などを確認しました。

仮設ケーブルの接続状況を確認したところ、本来、変圧器の一次側（480V）に接続すべきところ、二次側（200V）に接続されていました。

その原因は二次側に繋がる中継端子台を一次側と思い込み、誤って接続したためと推定しました。

対策として、仮設ケーブル敷設を伴う工事要領書には接続箇所を具体的に記載するとともに、ケーブル敷設時の注意事項として記載することとしました。また、当該変圧器の中継端子台に、一次側、二次側等の表示を行うなど、誤って接続しない措置を実施することとしました。

※：MCC（モーターコントロールセンター）ユニット
発電所内の照明や運転機器等に電源を供給する電源装置

（平成23年12月19日発表済）

(2) 敦賀発電所の火災発生防止に係る特別点検の実施について

当社は、敦賀発電所において火災等が度重ねて発生していることより、12月12日に発生した短絡事象の対策も踏まえ、火災発生防止に係る特別点検を以下のとおり実施することとしました。

<特別点検の実施項目>

①現場設備の安全点検

発電設備および一般設備の運転・使用状況、変圧器端子の識別表示状況

②作業の安全点検

火気作業状況、仮設備使用状況、仮設ケーブル敷設状況

③管理面の安全点検

工事要領書に火気作業および電気火災防止の措置に関する記載がなされていることの点検

(平成23年12月19日発表済)

平成23年12月19日～12月28日の間、約300名の人員で火災発生防止に係る特別点検を実施しました。

特別点検では、現場設備について約9,500箇所、作業については約210箇所、管理面については約1,000件の点検を行いました。

当社は、今後とも、火災発生防止に発電所員一丸となって全力で取り組んでまいります。

(3) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 「2011 福井県小・中学生科学アカデミー賞」優秀作品展

〔福井県内の小学生（4年生以上）と中学生の個人・団体から応募があった理科自由研究作品のうち、最優秀賞など上位入賞20点を展示しています。〕

(12月27日～1月15日)

2) 「パステル色の小さな世界」パステル和 (NAGOMI) アート作品展

〔日本パステルホープアート協会公認インストラクター嶋津 智津恵様の初めての作品展です。パステルを削って指でクルクル♪パステル独特の色彩で優しく心地良いアートを約50点展示予定です。〕

(1月17日～1月22日)

3) 小学生人権ポスターコンテスト入賞作品展

〔福井県内の小学校5,6年の児童を対象とした人権ポスターコンテストの入賞作品展です。学校生活や地域社会とのかかわり等の中で得た体験を通じて描いた人権をテーマにしたポスターコンテストでの入賞作品を約40点展示予定です。〕

(1月24日～1月29日)

4) 樹脂粘土で作り出す みどりの1人展

〔樹脂粘土で動物、魚、虫、四季折々の作品を作られている、当ギャラリーでは初出展の山野 みどり様の個展です。季節を感じられる作品や、楽しい気持ちになれるような、可愛らしい作品を約30点展示予定です。〕

(1月31日～2月5日)

以上

東北地方太平洋沖地震への対応実績（12月3日以降）

（1）天正地震に関する津波堆積物調査結果の報告について

弊社および関西電力株式会社、独立行政法人日本原子力研究開発機構の3社は、平成23年11月11日付で原子力安全・保安院から東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について指示を受け、平成23年12月21日、天正地震に関する津波堆積物調査の結果をとりまとめ、原子力安全・保安院へ報告しました。

ボーリング調査による津波堆積物調査結果に加えて、天正地震に関する文献調査結果、さらに沿岸部の近くにおける標高の比較的低い神社への聞き取り調査結果から、「天正地震時による津波があったとしても、久々子湖における海側から遠い地点には至らない規模であった」と考えております。

今後、引き続き津波堆積物調査の評価を実施するとともに、必要に応じて、より一層の情報蓄積を図ることを目的とした調査を実施してまいります。

（平成23年12月21日発表済）

（2）敦賀発電所2号機の安全性に関する総合評価に係る報告書の提出について

当社は、平成23年7月22日付、原子力安全・保安院の指示文書「東京電力株式会社福島第一原子力発電所における事故を踏まえた既設の発電用原子炉施設の安全性に関する総合評価の実施について（指示）」に基づき、敦賀発電所2号機の安全性に関する一次評価結果を取りまとめ、平成23年12月27日、原子力安全・保安院に報告しました。

評価の結果、安全上重要な施設・機器等は、設計上の想定を超える事象（地震・津波等）に対する安全裕度を十分に有しており、また東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえて、これまでに実施した緊急安全対策等によって、さらに安全裕度が向上していることを確認しました。

当社は、今後も東北地方太平洋沖地震により得られた知見について、迅速かつ的確に必要な対策を追加し、発電所の安全確保に万全を期してまいります。

（平成23年12月27日発表済）

（３）福島支援の実績について

当社及び当社関係会社では、東京電力並びに関係自治体等に対し、応援要員の派遣要請に備えた待機、消防ポンプ車や放射線測定器等の資機材の提供を行っております。

１）要員派遣実績（１２月２６日現在）

当社及び当社関係会社から２人派遣中。

（３月１５日以降の累計は、合計で延べ４，０４１人・日）

２）資機材の提供実績（１２月２６日現在）

消防ポンプ車 １台

放射線測定器類（サーベイメータ、ポケット線量計等） 約１３０台

防護服 約３，５００着

その他（放管資機材）

当社は引き続き安全を最優先に、皆様に安心していただける発電所を目指し運営にあたるとともに、今回の福島第一原子力発電所における事故を踏まえて、必要な対策を速やかに実施し、発電所の安全確保に万全を期してまいります。

なお、当社を含め電力会社各社による福島支援活動は継続しておりますが、応援要員の派遣については、東京電力側の要員の現地派遣体制が整備されたことから、平成２４年１月以降、必要に応じ派遣することに変更しました。

今後も東京電力側の要請に基づく要員派遣の実績があった場合、月例のお知らせ（敦賀発電所の近況について）に掲載いたします。

以上